

業務部速報



No. 171

発行 22. 5. 16

JR東労組 業務部

申 28 号 2022 年度夏季手当等に関する申し入れを行う！

基準内賃金の

新型コロナウイルス感染症対応
に対する特別手当として、
全従業員(出向者含む)対象に

3.0 ヶ月を要求！
一律 5 万円を要求！

支払いは、6月30日まで

回答は、6月10日まで

JR東労組は、2年以上続くコロナ禍の中においても、安全第一で安定した輸送の完遂と健全な経営基盤の確立に向け、職場議論を積み上げ日々奮闘し続けてきています。

4月27日に発表された2021年度期末決算では、単体で2期連続の営業損失・経常損失・当期純損失の計上となった事実は受け止めなければなりません。一方、前年度コロナ影響の反動や、不動産事業における回転型ビジネスモデルによる売上計上により、運輸収入や不動産・ホテル事業は増収増益となり、営業収益は前期比増加となりました。これは、新型コロナウイルス感染リスクが高まり続けた中においても、公共交通機関として鉄道事業の使命を全うし、「変革のスピードアップ」のもとに示される施策等に向き合い続けるなど、日々の弛まぬ努力の結果であります。そして、2022年度通期の業績は黒字予想と示されていますが、福島県沖地震の復旧を果たし、ゴールデンウィーク期間においても、安全・安定輸送完遂を目指し奮闘してきた結果、業績回復の基盤をつくり、新幹線・在来線のご利用状況が前年比217%と昨年と比にならない状況をつくり出しているとの実感があります。

また、職場では、矢継ぎ早に示される施策により、働き方が変化し労働密度が高まることや、多くの職場で管理者が施策等を説明できない、質問に答えられない等の事象が発生していることに、不満や不安を抱きながらも、ダイヤ改正以降の課題や現業機関における柔軟な働き方の実現等の施策に向き合い続けています。そして、今後「JR発足以来最大の変革」と示されている「組織の再編」の具体的な議論に向き合うことが求められています。

しかし、生活実感は21春闘における定昇カットや連続したベアゼロ回答が生涯賃金に大きく影響を与えているだけではなく、期末手当のカットなどにより可処分所得が大幅に減少している中での生活を余儀なくされているのが現実です。

人材定着・確保の観点も含めて、「生活実感」「労働実感」と、弛まぬ努力を続ける組合員・社員、それを支える家族の奮闘に報い、モチベーション維持・向上を実現するために、要求満額回答を強く求め団体交渉を行っていきます！

要求満額獲得に向けて、職場のたたかいを積み上げよう！